

● ● ● 旧甲州街道を歩く④ ● ● ●

日時:2019年11月17日(日) 天候:晴れ 22000歩 約16km (やや健脚)

集合:京王線東府中駅 10時

コース:東府中駅→大國魂神社→府中高札場跡→分倍河原・新田義貞像→府中本宿→熊野神社→谷保天満宮→南養寺
→立川公園→日野の渡し跡→立日橋→日野宿本陣→日野駅(解散)

参加者:平山(L) 奥村(SL) 勅使河原 平石 熊坂 大平 高橋文 小林 小島 栗田 市村 桑名 武倉 長廣 滝川 島
高橋友 脇坂 鹿島 吉田敬 計20名

「甲州街道をはじめ、東海道・中山道など完全制覇済み・・・」と言うのは、御年81歳になる説明係りの女性。ここは旧甲州街道「日野宿本陣」内。良く通る声で話も分かりやすく、背筋も伸び肌艶も良くお元気そうでいまだ現役です！

さてこのシリーズも今回で4回目。東府中から日野まで、青空の下での街道歩きとなった。前回は晴天でまだ暑さが残っていたが、足早に季節は移ろい、朝の冷え込みが身体に出来るようになった。この日は風もなく穏やかな秋の日差しが降り注ぎ、途中の大國魂神社では七五三の家族連れが目立った。入り口の大鳥居には祝大嘗祭の横断幕がかかり、露店の良い匂いに釣られる女性陣も。分倍河原駅前には新田義貞像があり、この辺りが往時の合戦場だったことが伺い知れる。個人的に興味があった熊野神社の上円下方墳は、玉石積で綺麗すぎがっかりだった。“やぼてん”の語源とも言われる谷保天満宮の梅園内でランチタイム。多摩川に架かる日野橋は、台風19号の影響で橋の一部が変形し今も通行止め。頭上をモノレールが走る立日橋からは、「多摩川を歩くシリーズ」で見守られた大岳山が眺められ、当時が懐かしく思い出された。

最後は、日野宿本陣で新選組をめぐる話に耳を傾け、JR日野駅で解散となった。

<フォトレポート 小島>



日野宿本陣前で。疲れて身体も硬くなったが・・・前列の皆さんはこの後立ち上がったのでしょうか？



東府中駅枚札前。集合時には全員勢揃い。



開かずの踏切？京王線は特急はじめ運行ダイヤが過密。



近くの公園で熊坂さんのストレッチから。



甲州街道の又シ、平山L & 奥村SL。(大きな地図を貰う)



晩秋で陽も低く影が長い。



最初のポイントは八幡宿の碑。



宿といっても村落の意味。



怪しげな参道。この道は何処へ・・・



参道に踏切？ここは武蔵國八幡宮。



趣のある拝殿。境内は結構広い。

※二の鳥居は京王電鉄が奉納したもの。この踏切は京王競馬場線で、かつてはこの近くに東府中駅の代わりに「八幡前駅」という駅があった。



大國魂神社に到着。七五三の時期なので露店もあった。



紅葉に包まれた本殿は家族連れで賑わっていた。



何かと親の出費も嵩む？いや、ジジ&ババの方でしょ。



家族連れの視線を浴びながらLの説明は続く。



府中高札場跡。鎌倉街道との交差点。



下には甲州街道の説明碑と府中小唄？



高札場の前には蔵カフェが。



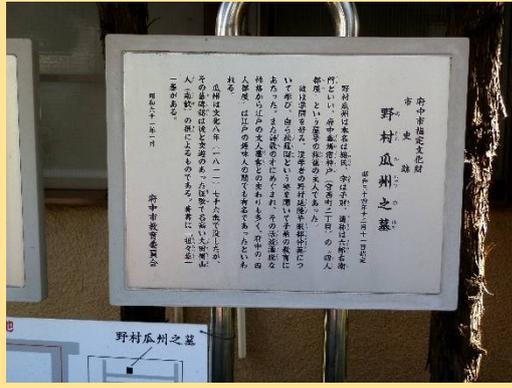
番場宿跡には番場公園があった。



店の名も番場屋。和風割烹でした。



高安寺の野村瓜州の墓。



旅籠の主人で教育者。趣味人でもある。



弁慶坂の案内板。硯の井の遺構も。



分倍河原駅前の新田義貞像。(分倍河原合戦跡)



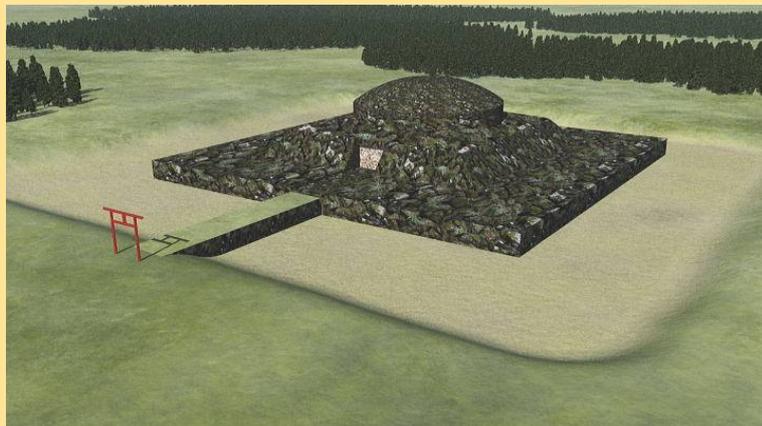
後方部隊待ち。並んで暫し日向ぼっこ！



府中熊野神社に入る。近くには同名の神社も。



ここは上円下方墳で知られる。(横からでは分からない)



当時の全景はこのようになっていた？ (Webサイトより)



ランチ場所の谷保天満宮に到着。



鶏が放し飼いになっているはず・・・



時間を確認しランチとなった。



各自梅園内で場所を見つけて。



梅の時期には混雑する園内。



牛に次いで知られる鶏。(種類は?)



天満宮といえば牛。本殿前は七五三の家族連れがいるのでこの牛を背に全員集合。(樹木で左側が影に)

■谷保天満宮■

東日本最古の天満宮で、亀戸天神社・湯島天満宮と合わせて関東三大天神と呼ばれる。南武鉄道(現:南武線)が谷保駅の駅名を「やほ」としたため、地名までも「やほ」となったが、本来の読み方は「やぼ」。江戸時代の太田蜀山人が、「神ならば 出雲の国に行くべきに 目白で開帳 やぼのてんじん」と詠み、ここから「野暮天」「野暮」となったといわれる。



甲州街道の歩道は狭過ぎる！



道沿いには鳥のような木が・・・

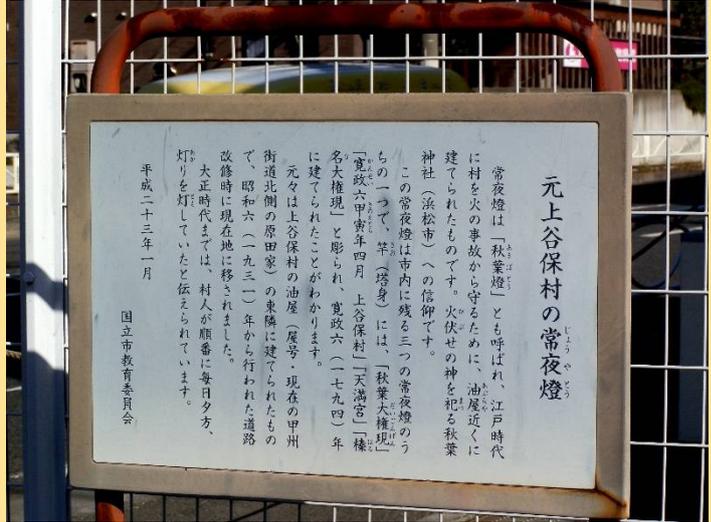


南養寺。ここには常夜灯も。



■常夜灯■

夜道の安全のため、街道沿いに設置されている常夜灯は、現在で言う街灯の役目を果たしており、街道の道標として設置されているものが多い。港町などには灯台の役目をした大型の常夜灯が設置されている。集落の中心や神社などの常夜灯は、信仰の対象として設置されている。昔はロウソクや菜種油を燃やして火をつけていたが、今では電球をつけているので、管理する人がいなくなった常夜灯が多い。



立川公園に入ります。



皆さんややお疲れのご様子。



休憩を終え次は何処へ？



多摩川の土手に出ました。



台風で歪んだ日野橋。



その下を無事に通過！



旧甲州街道はここから多摩川へ。



その脇には日野の渡し跡の碑が。



渡し舟の形をしたモニュメント。



秋の陽をいっぱい浴びた碑の前で全員集合。多摩川の土手からは少し離れているので分かりづらい場所。



赤い橋とモノレール。これから渡る立日橋。



頭上はモノレールの軌道。前方は立川駅方面。



台風で濁った水も平常に戻ったようです。



立日橋からは遥かに大岳や奥多摩方面が望める。



市民の森スポーツ公園でトイレ休憩と時間調整？



リーダーもお疲れ気味？・・・でもなさそう！



本陣の手前に「有山家」の店蔵が。



ここは旧日野銀行の店舗だった。



震災後に洋風の外観に改修された。



最後は日野宿本陣を見学。



入館料はシニア割りなしの200円。



ここでは専門の説明員が解説。この方、81歳です！



歴史が感じられ見応えのある本陣内でした。



本陣を出て近くの八坂神社で熊坂さんのクールダウン。



ゴールの JR 日野駅に到着。皆さんお疲れ様でした。

<今日の一言>

こうして旧甲州街道を歩く④は無事お開きとなった。貰った資料には18kmとあったが、結果は控えめの16kmだった。台風19号の爪痕がいまだに各地に残っているが、立日橋から見た河原も荒らされていて、流れがだいぶ変わっている。渡し舟が行き交った当時の多摩川も、大雨による川止めで難儀した人々がいたであろうことを思い知らされた。

※なお次回のコース⑤は日野駅から八王子へと歩く。 乞うご期待！

END